

富津市の介護保険の実施状況をお知らせします

介護保険制度とは...

高齢化や核家族化が進んだいま、介護は誰にも避けては通れない問題になっています。介護保険制度は、介護を必要とする本人や家族の負担を、社会全体で支えあうためにつくられた制度です。



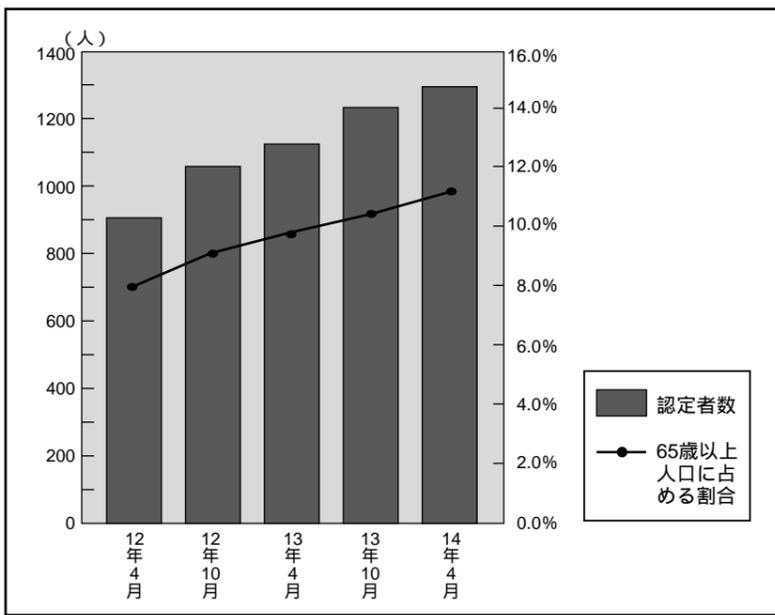
デイケア中、風船バレーでリハビリする利用者の皆さん

介護老人保健施設 ケアセンターさきぐさにて

○丸3年を迎える介護保険制度

介護保険制度は、平成12年4月1日から施行され、もうすぐ丸3年を迎えます。富津市での介護保険事業は、市民の皆さんのご協力により順調に推移しています。

市の総人口は、毎年減少していますが、高齢者の人口（65歳以上の人口）は毎年増加しています。平成14年8月現在では、介護保険の第1号被保険者（65歳以上の人口）は、1万2000人を越えており、高齢化率は23%ほどになっています。このうち要介護・要支援認定者は1331人で、その割合は11.6%となっています。平成12年4月の制度施行時点では、認定を受けている人はおよそ900人、割合は8%ほどでしたので、人数、割合とも大きく伸びています。またサービスの利用についても、毎年拡大しています。



○事業計画の見直し

認定者数や介護サービス利用量の拡大を踏まえ、平成15年4月から、介護保険の新しい事業計画が始まります。事業計画とは、富津市でどんな事業がどれだけ必要になるのか検討し、サービスの総量などを予測するものです。

この計画は3年ごとに見直しを行い、この予測により、富津市の65歳以上の人の介護保険料基準額（年額）が決まります。現在、市では、介護保険事業計画策定懇談会を開催し、広く市民の皆さんの意見を聞きながら計画の見直しを行っているところです。このため、今年の2月に、要介護認定を受けている人全員を対象に「介護保険に関するアンケート」を実施しました。今回の特集号では、このアンケートの結果の一部と、お寄せいただいたいろいろな希望や意見をお知らせします。なお、特集号第2報（平成15年2月発行予定）では平成15年度からの保険料を中心にお知らせする予定です。



認定申請時のお願い！

介護保険の認定は、通常、申請から30日以内に決定し被保険者証を郵送します。ただし、次のようなときには遅れる場合がありますので注意して下さい。

- ・病院への受診が長期間ないとき
- ・入院中で急性期の状態であるとき
- ・認定調査員が本人、家族に連絡しても連絡が取れないとき

申請書には、日中連絡が可能な電話番号（携帯電話でも可）を記入し、主治医が本人の様子を記入できるかどうか分からない場合は、事前に病院へ確認するようお願いいたします。

高額介護サービス費の申請では...

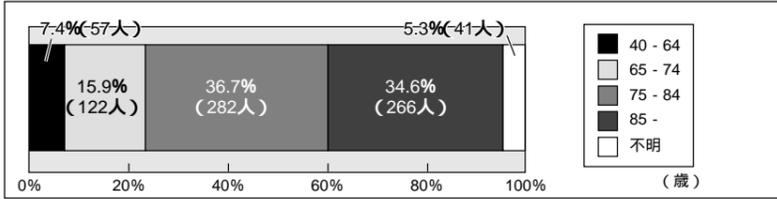
市から送られた申請書に記入のうえ、領収書の添付が必要になります。こちらもお忘れなく！

「介護保険に関するアンケート調査」の結果をお知らせします！

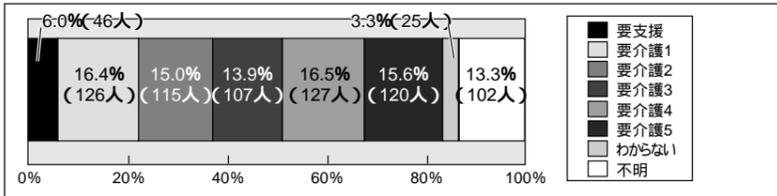
今年2月に行ったアンケートの結果をお知らせします。この調査結果を踏まえ、現在、市では平成15年から実施される介護保険事業計画の見直しを行っています。この計画により、1号被保険者（65歳以上の人）の介護保険料基準年額も決定します。

○利用者について

年齢



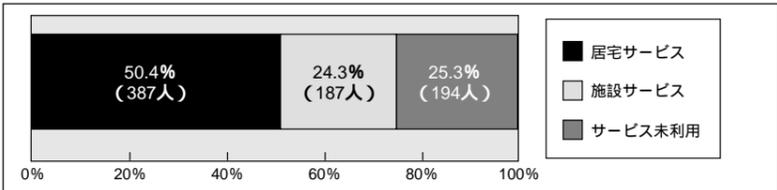
介護度



・全体の7割ほどが75歳以上の人です。施設サービス利用者では6割が要介護4・5の人になっています。

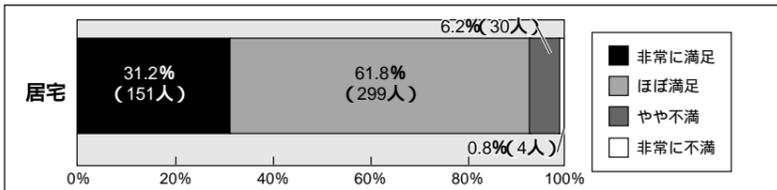
○利用しているサービス

サービスの区分

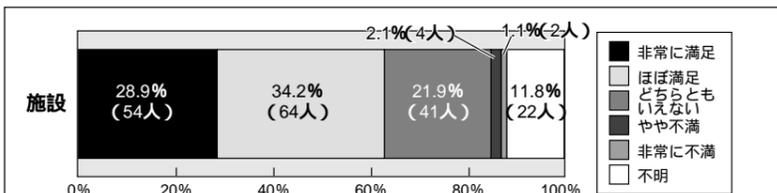


・返送いただいたアンケートを、利用しているサービスごとに分けるとこのようになります。

満足度（居宅各サービスの計）



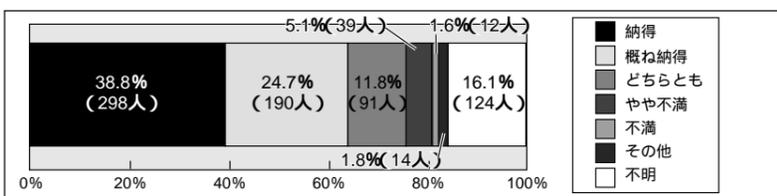
満足度（施設サービス）



・利用しているサービスに満足しているとの回答は、居宅サービスで93%、施設サービスで63%となっています。

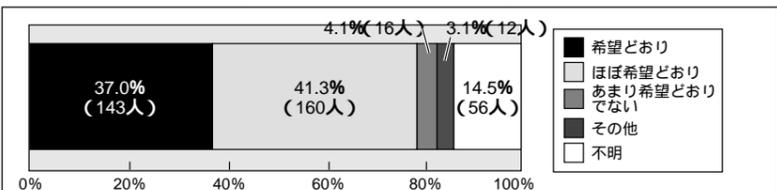
○認定・ケアプランについて

認定結果



・63%の人が認定結果に納得しています。

ケアプラン満足（居宅サービス利用者）



・希望と違うプランになった理由では「希望の日、時間の予約ができない」がもっとも多くなっています。

調査基準日 平成14年2月8日

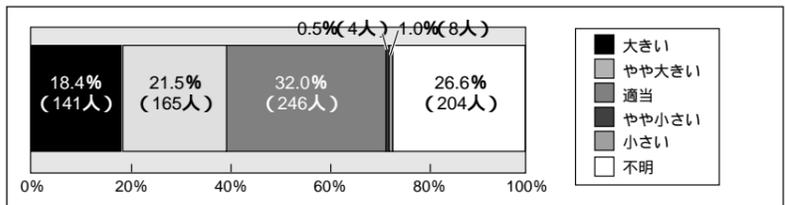
調査配布数 1,305件

回収数 768件 (58.9%)



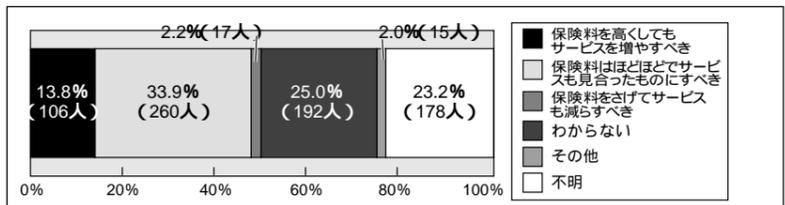
○保険料など

保険料の負担感



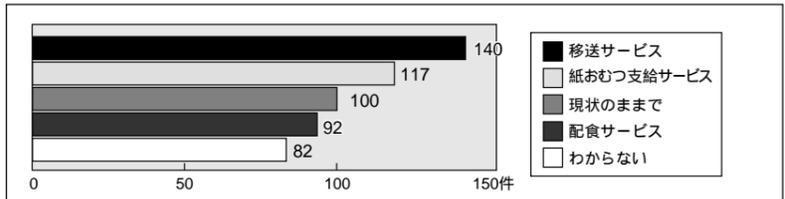
・「大きい」「やや大きい」をあわせて40%、「適当」が32%となっています。

保険料とサービスのありかた



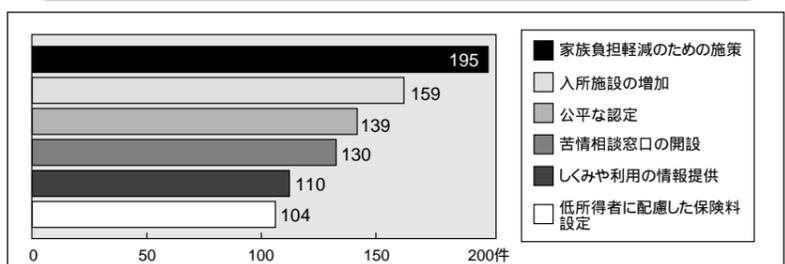
・ほどほどの保険料とサービス量を望む割合がもっとも多くなっていますが、「わからない」も次に多くなっています。

特別給付（居宅サービス利用者・未利用者の合計）



・新たな居宅サービスの希望では、「移送サービス（通院などの外出支援）」が140件寄せられています。「現状のままでいい」も100件あります。

○今後の施策で特に力をいれるべきこと（居宅サービス利用者・未利用者の合計）



・100件以上寄せられた施策は6種類になります。「家族負担軽減のための施策」は居宅サービス利用者からは147件寄せられています。ほかには「健康づくり・保健事業」「訪問・通所サービスの充実」「低所得者に配慮した利用料設定」と続いています。

○アンケートでは、自由意見もうかがいました。そのうち主なものを紹介します。

- ・ヘルパー、デイサービスの利用に満足している
- ・制度自体、用語などがむずかしい
- ・施設にずっと入所してられるか不安がある
- ・施設を増やしてほしい
- ・施設に入所し、本人、家族とも助けられた
- ・本人がサービスを受けたがらない
- ・高齢、無収入者は保険料を免除してほしい
- ・事業者を選ぶにあたっての情報が足りない